

## 平成 28 年度（第 2 回）二宮町文化財保護委員会議 会議録

日 時 平成 29 年 2 月 9 日（木） 13：30～15：30

場 所 ラディアソ ミーティングルーム 2

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、加藤孝次委員、  
露木泰彦委員、山口眞弘委員  
（事務局） 府川教育長、鐘ヶ江教育部長、  
小嶋生涯学習・スポーツ班長、  
中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 (1) 平成 28 年度文化財保護関係事業報告について  
(2) 中里村の半鐘について

### 1、開会

### 2、教育長挨拶

### 3、委員長挨拶

### 4、議題

#### (1) 平成 28 年度文化財保護関係事業報告について

※事務局より資料に基づいて説明。

(委 員) 前回の委員会で、町の指定文化財であるタブノキが国道に面しているの、倒れたら危険である、との意見が出たが、どのように対応しましたか。

(事務局) 特に何もしていません。管理者から話を聞いただけです。

(委 員) タブノキのある場所は、下に道があるので、万一倒れたら危険です。また枝が折れる可能性もありますし、幹も傷んでいるかもしれません。

(委 員) タブノキは JR 側に傾いているように見えますね。枝をおろして軽くしたほうがよいでしょう。

(委 員) 平塚市では大木の周りに注意の立て看板があり、何かあった時の連絡先が書かれています。タブノキの管理は誰がしているのですか。

(事務局) 管理は所有者がしています。昔は手の届く範囲で剪定をしていたそうですが、木が大きくなってしまったので今はやっていないとのこと。管理としては保険に加入し、掃除や見回りをしていると聞いております。

(委 員) 近所の方から意見はありませんか。

(事務局) 特にありません。

(委 員) 指定文化財である以上、何か事故があつては遅いと思います。まず注意喚起の看板を立てるべきでしょう。注意は十二分に払わなくてはなりません。

- (委員) その上で樹木医にみてもらい、倒れる危険性を判断してもらう必要がありますね。そして次のステップとしてある程度枝をおろして、名木としての体裁を保っていく、というのが望ましいのではないのでしょうか。
- (教育長) 実は町立体育館に隣接している松が2年間で3本倒れてしまいました。原因は松くい虫や落雷です。予算という問題はあるのですが、タブノキについては事故が起きる前に、看板を立てる、樹木医に診てもらおうなど、何らかのアクションを起こしたいと思います。
- (委員) 松と言えば梅沢のKDDIのところの松は宅地開発で伐採されてしまいましたね。
- (委員) たしかKDDIが進出する時、松は切ってはいけないという協定をしたはずですが。
- (委員) 私が昭和27年に二宮中学校の体育祭にリレーの招待選手としてこの地に来た時、大きな松林だと思った記憶があるのですが、松もすいぶん少なくなっていました。
- (委員) 松林は二宮らしい風景だったのですがね。
- (委員) 松も手を打った方が良いと思います。
- (委員) 今、一色小学校区でふるさと再生の地域おこしとして、神社仏閣をまわるコース、花を見るコース、馬場を見るコースなどを考えています。そこで石仏の資料があったら提供してもらえますか。
- (事務局) わかりました。
- (教育長) 吾妻山からふたみ記念館、川勾神社を結ぶ観光コースにしてはどうか、という動きがあるのですが、いかがでしょうか。
- (委員) そのコースは観光客を呼ぶには魅力的ですが、ふたみ記念館から川勾神社に抜ける古道は二宮層の露頭が出ているところが滑るので、散策道としては整備をしないと危険です。できる範囲で擬木を埋めて階段にしたり、観光客が道に迷わないよう道標をつけたりすれば観光資源として活用できるのではないのでしょうか。
- (委員) 吾妻山の鳥居は横綱の武蔵山が二宮に来て成績が上がったということで奉納したものです。このような由来がわかるような文化財の説明版も必要です。
- (委員) 毎年、少しずつ増やしていければ良いですね。
- (委員) 話は変わりますが、二宮町民俗芸能保存会が発足して40年経ちますが、初めから子どもたちを指導している方がいます。太鼓を通して子どもの育成に関わってきた方を表彰するという考えはありますか。
- (委員) 誰を表彰するかは難しいので、地区から推薦してもらえばよいのではないのでしょうか。
- (教育長) 検討します。

- (2) その他 「中里村の半鐘」調査報告  
※事務局より資料に基づいて説明。

## 5、閉会